



みんなの意見で公園などをつくることができるって知ってた？  
どんなふうにしてつくれるのか、見てみよう！

## みんなでつくろう！みんなの広場

名前もみんなで決めました

～鷺沼ふれあい広場～

カッパーク鷺沼の  
「カッチャン」



みんなが昔遊んでいた鷺沼プールが、2006年（平成18年）4月、土橋小学校、鷺沼ふれあい広場、フットサル施設「フロントタウンさぎぬま」、さぎ沼なごみ保育園に新しく生まれ変わり、名前も「カッパーク鷺沼」となりました。

その1つ、鷺沼ふれあい広場は、市民のみなさんと市役所が一緒につくった広場です。

利用する人みんなに親しまれるような広場にしようと、約1年半にわたって、市民のみなさんと川崎市が一緒になって考えました。

「鷺沼ふれあい広場」という名前も、市民のみなさんから募集して、その中から決められた名前です。

### ① 緑のある入口

「広場の顔となる、水や緑あふれる空間に」

という意見から・・・↓

緑のトンネルと水が湧き出す泉、滝ができました。

### ② せせらぎゾーン

「鷺沼プールのイメージを残し、小さな子どもでも遊べるような場所を」

という意見から・・・↓

子どもが遊べるジャブジャブ池ができました。

### ③ 芝生ゾーン

「寝ころがったりできる芝生があれば、ウォーキングができるように」

という意見から・・・↓

大きな芝生広場とその周りを囲む園路ができました。

### ⑤ 草っぱらゾーン

「小学校の授業でも使えるような、自然に近い環境も」

という意見から・・・↓

周辺に野草が生えた、ピオトープ池をつくりました。



## ●どんなふうに決めていくのかな？

まず、最初に、「広場整備検討委員会」を結成。市民の有志のみなさんが集まって、広場づくりが始まりました。

広場を4つのゾーンに分け、それぞれのグループごとに現地を調査したり、アイデアを出し合って、広場づくりの基本的な考え方(基本構想案)をつくりました。

次に、委員会のメンバーではない人たちの意見を聞くために、ワークショップという意見交換の場を設けて、さらに内容を修正したり、みんなで話し合ったりして、最終的な考え方を約1年半かけてまとめました。

そして、川崎市は、こうした市民のみなさんの意見を取り入れて、鷺沼ふれあい広場をつくりました。



A班のプラン



模型を作りました!

みんなの意見を反映させて



B班のプラン



C班のプラン



また、広場の整備だけではなく、広場開園後の使い方や運営・管理方法などについても、市民のみなさんが気持ちよく使えるようにと、みんなで意見を出し合って、ルールを決めました。

こうやって、みんなが意見を出し合って、つくられるものもあるんだよ!

みんなも、例えば、自分の身近なテーマで話し合ってみましょう。

### トピックス5

## 自分たちのまちは自分たちで守ろう!



### ～市民活動団体「野川はあも」の取り組み～

宮前市民館の市民自主学級として「野川・南野川ふれあいの森」を中心に緑に関する活動を行っています。

「森を守りたい」との思いから、自分たちでやれることは自分たちでやろうと、近隣の区民による有志で結成されました。

自生しているきのこを探索したり、落ちていた枝などを使って歩道と雑木林を分ける柵を作ったりなど、身近にある自然の面白さを再発見するプログラムを次々と催しています。